

# オオクラウディックラブ通信 NO. 5, 6



2006.12.01 発行:オオクラディックラブ事務局

第5回 ウッディークラブが、2006年6月11日(日) 弊社事務所に開かれました。今回は今までに寄せられた故障、修理の報告。メンテナンス期間のめやす。外部塗装などをすればするほど、建物の風格が増して来るなどの話を、大蔵建設よりさせて頂きました。

さて、今回の講演会の講師は、ウディアグ(株)代表取締役 鍋木武弥氏です。講演会の途中で鍋木さんは、青年海外協力隊員として赴任した、南米パラグアイのマテ茶を配ってくださり、皆で試飲しました。現地では、このお茶を良く飲んだそうです。少し苦く癖があるのですが、ビタミンが豊富に含まれ、パラグアイの暑い夏を乗り切るには欠かせないそうです。その土地その土地の気候風土に適した食物がある、というお話。なぜ伊那谷に住もうと思ったか、「手仕事のぬくもり」をはじめたきっかけ。又、大蔵建設天竜峡研習所を、事務所として借りて頂いているのですが、パツプソーハウスで仕事をしていることを、ウディアグの社員の皆さんが、とても気に入って下さっているというお話。など日頃感じていること、こっぴどわっていることなど多方面にわたりお話下さいました。

鍋木さん、ありがとうございました。

全国のさまざまな手仕事を紹介しています。



千葉置店千葉さんの話を聞く。再生したお座敷を使わせて頂きました。北林さん、準備から大変お世話になりました。



2006年11月4日(土)、第6回 オオクラディッククラブが開かれました。

今回は、高森町の北林さんのお宅(築140年以上の民家の再生)をお借りして、畳のメンテナンスの話、又、北林さんの御主人によるお話がありました。

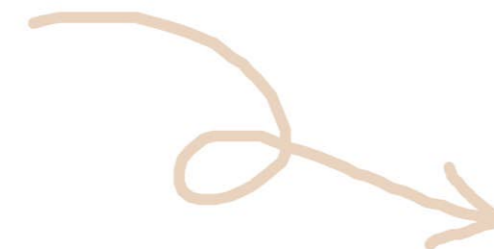
北林さんは飯田立丸山小学校校長を退職された後、飯田市立美術博物館に勤務。その時の、「青い目の人形」と題したお話を頂きました。

畳の話は、千葉置店の千葉さんより。畳の掃除は、畳の目にそって掃くようにする。最近特に多い苦情に「かびが出たが、どうしたら良いか？」というのがあります。まず窓を開け、乾いた空気を入れて換気をすることが、最も大切なことであるが、さらに、

- ・除湿機、エアコンで除湿をする。

・珪藻土に消毒用アルコールを含ませ、拭き取る。 と効果があります。

又、畳替えを定期的に行うことは、畳をめくることにより、隠れているトラブル(ex. 柱等の腐り、シアリ等)が、早期に発見され易いことでもある。などのお話がありました。さらに、畳の廃材やオガクズを固めて作った、固形燃料の紹介がありました。



まだ、研究段階ですが...

※この時の様子は、大蔵建設(株)ホームページ内 社長のブログで紹介させて頂いています。合わせてご覧下さい。